

## 特別寄稿

# 茨木市×追手門学院大学×大塚製薬株式会社「朝食欠食改善プロジェクト」開始

追手門学院大学 地域スポーツ人材育成コンソーシアム 会員

大塚製薬株式会社 ニュートラシューティカルズ事業部 関西第一支店

近藤 航海・稲田 瑞希



### 【背景】

大阪府茨木市の朝食欠食数値（健康増進計画において次回2029年度に調査予定）を改善する目的で、追手門学院大学 社会学部の辰本ゼミの4年生2名（松下小雪さん、高橋謙人さん）と大塚製薬株式会社、茨木市が一緒になって、昨年7月から連携し活動しております。主に月に1回の面談を行い、取り組み内容の進捗確認やこれから取り組むべきことなどをディスカッションしております。

取組内容としては、3つの段階に分けて取組を進めており、現在は2段階目の取組を行っております。

### 【第一段階】

昨年3月に追手門学院大学の学生を対象に、朝食に関する調査を行ったところ、約30%の学生が朝食欠食者に該当していました。朝食を摂らない理由としては、「時間がないから」が1番多く、次いで「朝食を食べるより寝たいから」「面倒だから」という理由が続きました。また、朝食欠食者の約3人に1人は、小中学生の頃から摂取していないことが分かりました。



### 【第二段階】

第一段階の結果を踏まえ、学内での朝食摂取啓発活動に取り組み始めています。学生2名とともに、「学生目線でのような施策があれば朝食を食べるか」についての協議を行い、実際に学生の意見を取り入れ、啓発動画の作成、フード自動販売機の設置が決定。啓発動画については学生自身に作成いただき、自動販売機についても、学生10名との試食会を経て、投入品目を決定しました。また、この取組を学内に周知するため、学生に告知ポスターも作成いただき、学生主体で様々な取組を実施中です。大塚製薬側でも学生のサポートだけでなく、茨木市との連携ポスターの作成や、そのポスターを用いた自動販売機のラッピングデザインの作成等、新年度の一斉開始に向け、学生・大塚製薬の両社で動きを進めております。



※学生作成動画抜粋

### 【第三段階】

今後は、学内だけでなく学外への発信も考えており、イオンモール茨木や茨木市関連企業とともに取組を進めていく予定です。学内アンケートにおいて、小中学生からの朝食欠食問題が明らかとなったため、茨木市とも連動しながら市内小中学生への啓発に注力できればと考えております。既に市内小学校34校・中学校14校の計48校には大塚製薬作成の朝食啓発ポスターを配布・掲示済ですが、学生さんから小中学生へ直接啓発していただくことで、より身近で伝わりやすい啓発に繋がるのではないかと考えます。新たな学生の参加も募りながら、追手門学院大学・茨木市・大塚製薬で継続した取組を行い、最終的には「追手門学院大学モデル」を茨木市内他大学に広めていきたいと考えております。

